

令和6年度(2024年度)

長門地域農林水産業・農山漁村きらめきレポート



令和7年(2025年)8月

長門地域農林水産業・農山漁村振興協議会

目 次

第 1 成長を支える多様な人材や中核経営体の確保・育成

- 【① 地域をけん引する中核経営体の育成と経営基盤の強化】 1
- 【② 「農林業の知と技の拠点」等と連携した農林漁業新規就業者の確保・定着】
. 3
- 【③ 農山漁村女性リーダー・やまぐち農林漁業ステキ女子の育成】 5

第 2 地元農林水産物のさらなる需要拡大

- 【① 地産・地消の取組強化】 6

第 3 需要の変化に対応した持続可能な生産供給体制の確立

- 【① 実需者のニーズに応える農畜産物の結びつき強化・生産拡大】 8
- 【② 需要に応える木材供給力の強化】 10
- 【③ 海洋環境の変化も踏まえた水産資源の管理強化と生産体制の確立】
. 11
- 【④ 安心・安全な農水産物の供給】 11
- 【⑤ 防疫体制の強化】 12
- 【⑥ カーボンニュートラルに貢献する持続可能な農林水産業の推進】
. 13
- 【⑦ 「農林業の知と技の拠点」等と連携したスマート農林水産業の推進】
. 14

第 4 産地の維持・拡大に向けた基盤整備と防災力強化

- 【① 生産性を高める基盤整備】 15
- 【② 鳥獣被害対策の強化】 17
- 【③ やまぐち森林づくり県民税等の活用】 17
- 【④ 農山漁村の持つ多面的機能の維持】 18
- 【⑤ 防災・減災機能の強化】 19

第1 成長を支える多様な人材や中核経営体の確保・育成

募集から技術研修、就業、定着までの一貫した支援体制により、新規就業者の安定的な確保・定着を図るとともに、意欲ある担い手の経営基盤強化に向けた支援や、企業等の新規参入の促進など、多様な担い手の確保・育成を図ります。

【① 地域をけん引する中核経営体の育成と経営基盤の強化】

○ 令和6年度の取組

(農業部)

- ・経営発展を目指す意欲ある担い手に対して、市、農協と連携し、県農業経営・就農支援センターの専門家派遣制度の活用等を通じて、法人化や経営改善等を支援しました。
- ・集落営農法人の役員や若手就業者を対象に、長期ビジョンの策定や人材育成に資するための研修会を開催しました。
- ・地域における将来の農地利用の姿を明確化するため、地域計画の策定を支援しました。
- ・農福連携により、生産者の高齢化による担い手不足の解消や多様な地域人材の活用を図りました。



集落営農法人の役員等を対象とした視察研修



地域計画策定のための話し合い



農福連携によるスイカの管理作業

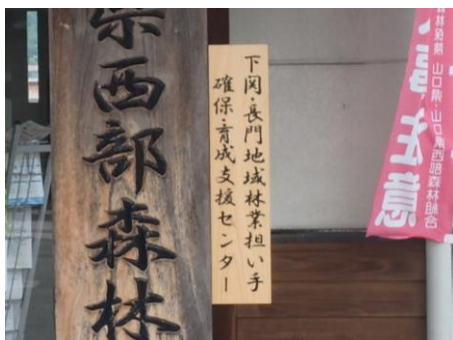
(森林部)

- ・植栽や下刈りなどの労働力を確保する「林業サポーター研修」では、8名が受講し、1名がサポーターバンクへ登録しました。
- ・やまぐち森林担い手財団と連携して、就業相談や仕事見学ツアーを開催したところ、山口県西部森林組合の事業地視察には7名の参加がありました。



林業サポーター研修

- ・山口県西部森林組合内に林業担い手確保・育成支援センターが開設され、101件の相談（うち担い手関係は6件）に対応しました。



林業担い手確保・育成支援センター開設

(水産部)

- ・県漁協大浦支店の漁業者グループが実施している県内初のアカウニ試験養殖について、令和6年8月からの本養殖への移行を支援したほか、油谷地区の漁業者グループの剣先イカ加工による収益性向上に向けた取組みを支援しました。



養殖アカウニ「夏味」



加工剣先イカ販売用チラシ

【② 「農林業の知と技の拠点」等と連携した農林漁業新規就業者の確保・定着】

○ 令和6年度の取組

(農業部)

- ・管内で7名の新規就業者を確保しました。
- ・拠点（農業大学校）と長門大津地区農業法人連絡協議会との連携を強化するとともに、新規就業者の受け皿となる法人経営体が安定的に人材を確保できるしくみづくりに取り組みました。



農大での法人合同説明会



農大生と法人若手の交流会

- ・地元の高校生（大津緑洋高校日置校舎）2年生8人に対して、農業に興味を持ってもらえるよう授業の中で、農業法人等を訪問し、経営概要の説明や農作業体験する機会を設けるとともに、農業大学校への訪問等の取組を支援しました。



地元の高校生の農大訪問

(森林部)

・ 確実な事業遂行のためには、安定した労働力が必要ですが、近年、作業従事者の減少や新規就業者の確保、定着が進まず、労働力対策が急務となっています。

そのため、講師として西部森林組合・㈱シンラテックを招き、地元の高校生（大津緑洋高校日置校舎）1年生25人に対し「林業の仕事」等の出前授業を行いました。

なお、これまでの継続的な取り組みが実を結び、令和7年3月の日本森林学会大会における同校のポスター発表「楽器を通じて国産材の認知度向上へ挑む」が最優秀賞を受賞しました。



高校生を対象とした出前授業

(水産部)

・ 関係機関と連携を密に取り、事前の検討から就業・定着までの継続的なサポートに努め、特に、乗組員2名（通地区）のOJT研修を支援しました。また、独立後間もない新規就業者等の自立化に向けたフォローアップを行いました。



研修開始（漁船乗組員定着促進事業：OJT研修）

【③ 農山漁村女性リーダー・やまぐち農林漁業ステキ女子の育成】

○ 令和6年度の取組

(農業部)

- ・経営参画をめざす新たな女性農林漁業者「やまぐち農林漁業ステキ女子」を育成し、経営発展に向けた新たなチャレンジや実践活動を支援しました。
- ・若手女性農業者のネットワークづくりに向けた交流会（農業女子会）のほか、6次産業化推進に向けて農事組合法人女性部活動を支援しました。



交流会(農業女子会)



農事組合法人女性部情報交換会

(水産部)

- ・リーダー研修会や農山村女性との連携交流会のほか、ながと魚まつりにおいて、県漁協女性部が商品開発したガンガゼ（うに）飯の販売活動を支援しました。



10月のながと魚まつりで初販売



提供したガンガゼ(うに)飯

第2 地元農林水産物のさらなる需要拡大

長門地域地産・地消推進委員会を核に、生産者、流通・加工関係者、消費者が協働して、地産・地消の取組強化を図るとともに、需要者ニーズに的確に対応した供給体制を整備するなど、地元農林水産物のさらなる需要拡大を図ります。

【① 地産・地消の取組強化】

○ 令和6年度の取組

(企画振興室)

- ・長門市内で開催されたイベント（ながとブルーオーシャンライド、ONSEN ガストロノミーウォーキング、ながと魚まつり）では、地元農産物（長州どり、はなっこりー、穂垂米、ジビエ等）を食材提供を行いました。
- ・ほっちゃんテレビ、FM アクアにて、長門市内で生産される農林水産物を中心に、市民への情報発信を行いました。
- ・やまぐち食彩店2店舗、販売協力専門店（花き）1店舗を新規開設し、地産・地消推進拠点を拡充しました。また、販売協力店2店舗では試食販売を行い、地元農産物のPRを図りました。
- ・学校給食関係者との情報交換会や産地見学会の開催により、地元農産物への理解をさらに深め、県下でも高い地元食材利用率を維持しました。
- ・保育園における食の体験学習では、いちごハウスの見学やいちごアイスクリーム、豆腐、みそ作り体験を行い、地元農産物に触れる機会を作りました。
- ・ながとお料理コンクール入賞作品や漁協女性部、4Hクラブ員考案レシピなど9種類のレシピカードを作成し、イベントや販売協力店、関係機関に配布して地元農産物の食べ方提案をしました。
- ・長門市未来農業創造協議会と連携し、長州ながと和牛PR動画を制作しました。育てる人（生産者）、届ける人（販売店）、伝える人（飲食店）の3部からなり、販売協力店、やまぐち食彩店の方々が出演しています。



販売協力店での試食販売



園児のいちごハウス見学



産地見学会

(森林部)

・民間・公共建築物の木造化、内装木質化を推進するため、民間分野では、長門市が取り組んでいる市産材を利用した「ながと型住宅」について、PRの場を設ける等の支援をしました。公共建築分野では、木材利用推進会議の開催や木材利用関連の研修会等に参加し、情報収集を行いました。



ながと型住宅

第3 需要の変化に対応した持続可能な生産供給体制の確立

地元農林水産物や加工品に対する需要の変化に的確に対応し、持続可能な生産活動が展開できるよう、スマート技術等の実証による省力化・高品質化栽培技術の普及や、環境負荷の低減に資する新たな技術導入、防疫体制の強化による安心・安全な農水産物の供給対策など、生産供給体制の強化を図ります。

【① 実需者のニーズに応える農畜産物の結びつき強化・生産拡大】

○ 令和6年度 of 取組

(農業部)

(1) 実需者ニーズに応える麦、大豆等の生産拡大

- ・令和7年産小麦の栽培面積は99haと年々増加していますが、求められる品質を確保するため、全法人を対象に重点指導を行い、産地全体の栽培技術の底上げと小麦品質の高位安定化を支援しました。
- ・大豆の難防除雑草の帰化アサガオ類を防除するために、スマート農業技術等を活用した効率的な除草技術の普及を図りました。
- ・飼料用米の生産振興を図るため、いもち病抵抗性品種の現地実証ほを設置するとともに、増産意欲の醸成を図るための飼料用米収量コンテストの開催を支援しました。



除草剤散布用吊り下げノズル



飼料用米収量コンテスト表彰式

(2) 園芸産地の維持・振興

- ・集落営農法人を中心に「キャベツ」「はなっこりー」「たまねぎ」「にんじん」等の園芸品目が栽培されており、加工・業務用や学校給食用の出荷に向けた生産を支援しました。



加工用キャベツほ場



たまねぎほ場

(畜産部)

【やまぐち和牛】

(1) 生産性向上対策

① 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）

・平成 27 年度からの累計 33 機種を整備しました。それらの機械が有効活用されるよう長門大津畜産振興協議会と連携してフォローアップを行いました。

② キャトルステーションの支援

・油谷で施設整備されたキャトルステーションの実証を支援しました。

(2) 高品質化対策

・やまぐち和牛の一層の高品質化を進めるため、家畜人工授精師をはじめ関係者へ優れた能力を有する県有種雄牛を広く PR しました。

(3) 優良繁殖雌牛の導入や後継牛の保留

・農家が長門市の優良繁殖雌牛導入事業を活用する際に、対象牛の評価を行い 11 頭の優良雌牛を導入しました。また、優良後継牛の保留を希望する農家に対しても発育状況や体型等を確認し 9 頭の保留を進めました。

(4) 第 72 回山口県和牛共進会の取組

・長門地域の代表として、種牛の部に 11 頭を出品しました。

(5) 「長門市畜産振興計画」の具現化支援

・「長門市未来農業創造協議会畜産振興部会」へ参画し、計画具現化の支援を行いました。



第 72 回山口県和牛共進会



キャトルステーション

【長州黒かしわ】

(1) 生産拡大への取組

・令和 6 年度の長門市での出荷羽数は 29, 713 羽と県内の 65% を占めています。

(2) 安心・安全な畜産物供給

・飼料自給率 60% 以上となる長州黒かしわ専用飼料について農林総合技術センターと連携して飼料設計に関する助言等を行いました。また、本年度は、飼料に混合する大豆の配合可能な上限値と加熱の必要性について調査するとともに、発酵鶏ふんを活用した大豆の低コスト栽培並びに飼料への配合率について意見交換をしました。

(3) ブランド強化に向けた取組

・農林総合技術センターと連携して、長州黒かしわのブランド力向上につながる試験研究（品質を保持する貯蔵方法及び加工方法の研究、香りの特徴や成分の調査等）に取り組みました。



長州黒かしわ



非加熱大豆給与試験

【② 需要に応える木材供給力の強化】

○ 令和6年度の取組

(森林部)

(1) 新しい林業に向けた経営モデル実証事業の取組

・木材供給力を高めるには、大型高性能林業機械を活用した効率的な素材生産システムや、スマート林業技術の現場実装に向けた取り組みが必要です。

地域林業の司令塔である（一社）リフォレながとは、全国 10 箇所の一つとして国モデル事業に採択され、ICT 機器・機械を活用した境界明確化・資源量把握、低コスト素材生産等の実証試験を支援し、新しい技術の効率性、有効性が確認されました。

また、林業のトータルコスト低減に向けた技術普及の一環として、市内の苗木生産者の圃場において特定苗木の育苗期間の短縮に係る実証試験を開始しました。

(2) 異業種新規参入促進事業の取組

・建設業等異業種の林業への新規参入を促進する「素材生産実践研修」の受講者がリフォレながとの指導の下で、三隅地区での伐採に取り組みました。



ICT ハーベスタによる造材作業



特定苗木の育苗期間短縮実証試験

【③ 海洋環境の変化も踏まえた水産資源の管理強化と生産体制の確立】

○ 令和6年度の取組

(水産部)

(1) 重要魚種の種苗放流実施・資源管理指導

・キジハタやアワビ、ヒラメをはじめとした需要のある魚種について種苗放流の指導・支援を行いました。

【種苗配布数：キジハタ 24.1 千尾、アワビ 111 千個、アカアマダイ 10 千尾ほか】

(2) 沿岸域環境改善支援

・関係機関で連携し、漁業者を中心とした活動組織が行う藻場の保全・再生活動の取組を支援しました。【活動組織（4 組織）：通、長門東、黄波戸、立石】



種苗放流



藻場再生活動(ウニ駆除)

【④ 安心・安全な農水産物の供給】

○ 令和6年度の取組

(農業部)

・安心・安全な農産物の供給を促進するため、農業生産工程管理（GAP）の導入・実践に向けた支援を行いました。GAP 導入農場への事前指導や GAP 認定機関による審査実施を支援しました。



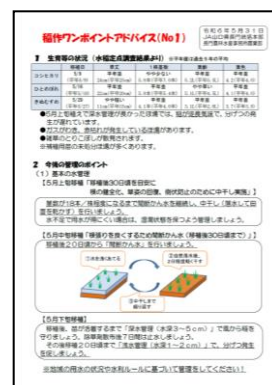
認定機関による GAP 審査

【⑤ 防疫体制の強化】

○ 令和6年度の取組

(農業部)

・農作物への病虫害の発生や気象災害の状況に応じた的確な指導を行うために、関係機関と連携し、調査ほ場の設置を行うとともに、SNS や広報等を活用して、適時適切な病虫害防除等の情報提供を行いました。



アポイントアドバイスの発行

(畜産部)

(1) 防疫マニュアルの見直し

・西部家畜保健衛生所と連携し、高病原性鳥インフルエンザ発生時の現地防疫対策本部マニュアルの見直しを行いました。

(2) 防疫研修会の実施

・職員、関係機関を対象とした高病原性鳥インフルエンザに係る防疫研修会を実施し、発生時の初動防疫を確認しました。



防疫研修会（仮設基地）



防疫研修会（講演会）

(水産部)

・コイヘルペスウイルス病などの特定疾病発生予防及び蔓延防止対策の徹底を図るとともに、赤潮・貝毒プランクトンの定期的な監視と迅速な情報発信を行いました。

【⑥ カーボンニュートラルに貢献する持続可能な農林水産業の推進】

○ 令和6年度の取組

(農業部)

・慣行栽培よりも化学肥料・化学農薬を50%以上低減した特別栽培米の安定生産に向け、関係機関と連携して調査ほ場の設置を行うとともに、講習会の開催や消費者との交流等、穂垂米栽培者協議会の活動を支援しました。



穂垂米の消費者交流会

(森林部)

・長門市有林を核とした主伐－再造林の推進により、16haの再造林が実施され、森林の若返りが促進されました。



再造林地（長門市有林）

(水産部)

・海中の藻場が貯留するCO₂をクレジット化し、保全活動を継続する『海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ協議会』に参画し、活動支援を行いました。

【⑦ 「農林業の知と技の拠点」等と連携したスマート農林水産業の推進】

○ 令和6年度の取組

(農業部)

- ・長門市未来農業創造協議会スマート農業推進部会と連携し、スマート農業技術の現地実証ほの設置や実証結果の取りまとめ、普及啓発の取組を支援しました。



ザルピオ連携可変施肥田植機の実証



水位センサー技術

(森林部)

- ・山口県西部森林組合は、広大な造林地をシカ被害から守る防護柵の管理の効率化・省力化を図るため、ドローンを用いた点検を実施しました。



ドローンによるシカ防護柵の点検

第4 産地の維持・拡大に向けた基盤整備と防災力強化

効率的に生産拡大を進めるために不可欠な農林水産業の生産基盤を計画的に整備するとともに、依然として深刻な鳥獣被害防止対策の強化、やまぐち森林づくり県民税の活用等による多面的機能の維持・発揮、近年多発傾向にある大規模な自然災害に備えた防災・減災機能の強化を図ります。

【① 生産性を高める基盤整備】

○ 令和6年度の取組

(農村整備部)

- ・高収益作物等の畑作物の導入を図るため、集落営農法人、認定農業者等に対し、水田高機能化事業の誘導等に向けた検討を行ってきました。

水田高機能化対策としては、油谷の本郷地区において区画整理工事を実施し、日置の黄波戸口地区において暗渠排水工事を実施しました。

【水田高機能化実施 A=7.8ha】



暗渠排水の施工状況
(黄波戸口地区)



暗渠排水の施工状況
(黄波戸口地区)

(森林部)

- ・森林資源の循環利用が期待できる区域において、森林作業道が約9km開設され、木材生産基盤の整備が促進されました。



森林作業道の開設

(水産部)

- ・生産基盤の整備：漁港施設の機能を保全するための必要な対策として、防波堤補修等を行い、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化を図りました。



仙崎漁港防波堤補修



仙崎漁港防波堤鋼管基礎補修

【② 鳥獣被害対策の強化】

○ 令和6年度の取組

（企画振興室）

・俵山地区においてサル被害対策検討会を開催して、地域ぐるみの取り組みについて地域住民の気運の醸成を図りました。また、ハンティングドローンによる巻き狩り実証試験及び山口型小型囲いワナ開発実証試験の報告会を実施しました。



サル被害対策検討会（俵山地区）



ハンティングドローン操作実演

【③ やまぐち森林づくり県民税等の活用】

○ 令和6年度の取組

（森林部）

・森林整備効果が大きい「森林機能回復事業」と「繁茂竹林整備事業」に取り組み、人工林の強度間伐や繁茂竹林の伐採を実施するなど、荒廃森林の整備を推進しました。

・長門市が実施する「地域が育む豊かな森林づくり推進事業」では、仙崎地区の植栽木保全活動や日置、油谷地区の修景伐採、俵山地区の繁茂竹林伐採等に対して支援を行いました。

・県民税事業の周知活動については、イベントでのパネル展示等を行うほか、地元メディア（ほっちやテレビ、FMアクア）を通じて、県民税関連事業の実績や事業周知を行いました。



人工林の強度間伐



修景伐採

【④ 農山漁村の持つ多面的機能の維持】

○ 令和6年度の取組

(農村整備部)

・「多面的機能支払交付金」に取り組む組織の活動を支援し、地域ぐるみで農地・農業用施設等の保全管理への農地維持支払、資源向上支払（共同活動）を支援しました。

【11 活動組織 A=1,735ha】

・老朽化が進む農業用施設などの長寿命化を図る補修等の取組を行う組織に対し、資源向上支払（長寿命化）の支援を行いました。

【9 活動組織 A=1,526ha】

・組織の広域化・体制強化として、活動組織の広域合併に向けた支援を継続して行いました。



資源向上活動

(鳥獣捕獲施設の状況確認)

(多面的機能支払)



集落の話し合いと合意形成

(中山間地域等直接支払)

(畜産部)

・耕作放棄地対策に加え、飼料コスト削減・飼養管理省力化の面から山口型放牧を推進し、新規取組者の掘り起しを行いました。



山口型放牧の様子



油谷耕作放棄地における山口型放牧

【⑤ 防災・減災機能の強化】

○ 令和6年度の取組

（農村整備部）

- ・ため池の日常的管理及び緊急時の対応について、ため池管理者などに周知等を図るため、ため池点検パトロールを梅雨時期前の5月に実施しました。
- また、新規地区2ヶ所の危険ため池のリスク除去（切開）を行い、防災減災の推進を図りました。

【ため池整備 2ヶ所】



ため池点検パトロール
（上げ新堤）



ため池の改修
（崩ノ河内第1地区）

（森林部）

- ・山地災害を未然に防止するため、上ヶ原（油谷地区）において、治山ダム（コンクリート谷止工）を整備しました。



上ヶ原（油谷地区）

(水産部)

- ・高潮、波浪等による浸水災害を未然に防ぐため、仙崎漁港（白潟）において海岸保全施設の新設又は改良を行いました。
- ・快適で潤いのある漁港環境の形成に向け、仙崎（後原）において漁港海岸の環境整備を行いました。